

# 大阪市習い事・塾代助成事業の実施状況（令和7年1月末現在）

## 1 習い事・塾代助成事業の概要と実績の推移

習い事・塾代助成事業は、子育て世帯の経済的負担を家庭の状況によらず軽減するとともに、こどもたちの学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を等しく提供するため、学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室などにかかる費用を、月額1万円を上限に助成するものである。

本事業は、平成24年9月に西成区において試行実施し、平成25年12月から全区展開しており、全区展開以降の利用実績等の推移は、次のとおりである。

### （1）習い事・塾代助成カード（旧 塾代助成カード）の交付・利用状況

平成25年12月から平成27年9月までは、市立中学校、特別支援学校に通学している中学生の養育者で、就学援助制度の被認定者及び生活保護受給者を助成対象（市内在住の中学生の約3割）として実施し、平成27年10月からは、市内在住の中学生の養育者で、その配偶者との合計所得金額が所得制限限度額未満の方を助成対象（市内在住の中学生の約5割）に拡大し実施していた。令和5年4月からは、小学5・6年生にも助成対象学年を拡大し、さらに令和6年10月からは、所得制限を撤廃して実施している。

習い事・塾代助成カード（旧 塾代助成カード）（以下、両者をカードという）の交付率については、平成25年度の29.6%に始まり、平成28年度に63.9%となって以降、60%台で推移していたが、令和6年10月の所得制限撤廃後の令和7年1月には、児童（小学5・6年生）81.4%、生徒（中学生）78.8%となった。

また、カードを1か月以上利用した生徒（中学生）は、平成25年度は4,315人で助成対象者の21.4%、平成26年度は8,284人で41.1%であったが、平成27年度下半期には15,430人で49.0%、平成28年度は18,230人で58.9%、平成29年度には18,394人で61.1%（ピーク）となった。以降、平成30年度は17,557人で59.8%、令和元年度は16,968人で58.2%、令和2年度は17,273人で58.5%、令和3年度は18,296人で60.7%、令和4年度は17,819人で59.1%、令和5年度は17,132人で57.1%、カードを1か月以上利用した児童（小学5・6年生）は、9,474人で47.5%となっている。

年度ごとの交付・利用状況は次頁以降のとおりである。

## 《平成 25 年度》

平成 25 年度 想定助成対象者数:20,149 人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
12 月	1,289	1,364	1,364	4,017	4,017	19.9%	2,530	12.6%
1 月	276	309	276	861	4,878	24.2%	2,802	13.9%
2 月	211	284	173	668	5,546	27.5%	3,635	18.0%
3 月	141	205	66	412	5,958	29.6%	3,529	17.5%
合計	1,917	2,162	1,879	5,958				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

平成 25 年度（平成 25 年 12 月～平成 26 年 3 月）に、1 か月以上カードの利用があった  
生徒人数 4,315 人（利用率 21.4%）

## 《平成 26 年度》

平成 26 年度 想定助成対象者数 : 20,149 人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
4 月	1,507	2,273	2,625	6,405	6,405	31.8%	4,421	21.9%
5 月	294	176	257	727	7,132	35.4%	5,113	25.4%
6 月	205	96	140	441	7,573	37.6%	5,582	27.7%
7 月	99	55	84	238	7,811	38.8%	6,064	30.1%
8 月	76	54	85	215	8,026	39.8%	6,152	30.5%
9 月	66	51	97	214	8,240	40.9%	6,375	31.6%
10 月	40	27	66	133	8,373	41.6%	6,517	32.3%
11 月	56	50	38	144	8,517	42.3%	6,585	32.7%
12 月 (※3)	150	△55	△151	△56	8,461	42.0%	6,896	34.2%
1 月	114	108	107	329	8,790	43.6%	7,045	35.0%
2 月	56	41	28	125	8,915	44.3%	6,968	34.6%
3 月	38	37	5	80	8,995	44.6%	5,923	29.4%
合計	2,701	2,913	3,381	8,995				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

※3 平成 26 年 12 月の交付者数の減は、資格要件の年度更新により助成対象外となった生徒の減

平成 26 年度（平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月）に、1 か月以上カードの利用があった  
生徒人数 8,284 人（利用率 41.1%）

《平成 27 年度上半期》

平成 27 年 4 月～9 月までの想定助成対象者数：18,976 人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1 年	2 年	3 年	合計				
4 月	1,743	2,723	2,961	7,427	7,427	39.1%	5,456	28.8%
5 月	238	147	149	534	7,961	42.0%	5,957	31.4%
6 月	175	81	94	350	8,311	43.8%	6,384	33.6%
7 月	77	49	76	202	8,513	44.9%	6,735	35.5%
8 月	61	34	58	153	8,666	45.7%	6,785	35.8%
9 月	47	29	72	148	8,814	46.5%	6,950	36.6%
上期計	2,341	3,063	3,410	8,814				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

平成 27 年度上半期（平成 27 年 4 月～9 月）に、1 か月以上カードの利用があった  
生徒人数 7,335 人（利用率 38.7%）《参考》平成 26 年度上半期 6,702 人（33.3%）

《平成 27 年度下半期（助成対象者拡大後）》 平成 27 年 10 月以降の想定助成対象者数：31,468 人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1 年	2 年	3 年	合計				
10 月	5,416	5,641	6,100	17,157	17,157	54.5%	12,738	40.5%
11 月	165	138	194	497	17,654	56.1%	13,490	42.9%
12 月	115	118	125	358	18,012	57.2%	14,075	44.7%
1 月	93	120	74	287	18,299	58.2%	14,167	45.0%
2 月	79	62	38	179	18,478	58.7%	14,073	44.7%
3 月	62	71	11	144	18,622	59.2%	12,960	41.2%
下期計	5,930	6,150	6,542	18,622				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

平成 27 年度下半期（平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月）に、1 か月以上カードの利用が  
あった生徒人数 15,430 人（利用率 49.0%）

## 《平成 28 年度》

平成 28 年度 想定助成対象者数:30,964 人

利用開始月	交付者数				交付者数累計	交付率(※1)	利用者数	利用率(※2)
	1年	2年	3年	合計				
4月	4,189	5,736	6,000	15,925	15,925	51.4%	11,545	37.3%
5月	358	75	85	518	16,443	53.1%	12,303	39.7%
6月	313	126	151	590	17,033	55.0%	12,948	41.8%
7月	270	110	136	516	17,549	56.7%	13,784	44.5%
8月	177	84	117	378	17,927	57.9%	13,987	45.2%
9月	131	60	96	287	18,214	58.8%	14,221	45.9%
10月	324	68	66	458	18,672	60.3%	14,551	47.0%
11月	95	114	116	325	18,997	61.4%	14,928	48.2%
12月	95	74	96	265	19,262	62.2%	15,324	49.5%
1月	64	71	52	187	19,449	62.8%	15,275	49.3%
2月	84	45	31	160	19,609	63.3%	15,098	48.8%
3月	86	70	19	175	19,784	63.9%	13,815	44.6%
合計	6,186	6,633	6,965	19,784				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）に、1 か月以上カードの利用があった生徒人数 18,230 人（利用率 58.9%）

## 《平成 29 年度》

平成 29 年度 想定助成対象者数: 30,095 人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
4 月	4,510	5,954	6,428	16,892	16,892	56.1%	12,217	40.6%
5 月	322	98	107	527	17,419	57.9%	13,042	43.3%
6 月	309	118	100	527	17,946	59.6%	13,718	45.6%
7 月	261	91	109	461	18,407	61.2%	14,441	48.0%
8 月	170	70	103	343	18,750	62.3%	14,545	48.3%
9 月	112	45	50	207	18,957	63.0%	14,738	49.0%
10 月	182	△230	△233	△281	18,676	62.1%	14,670	48.8%
11 月	134	131	151	416	19,092	63.4%	15,091	50.1%
12 月	97	84	107	288	19,380	64.4%	15,453	51.4%
1 月	77	66	59	202	19,582	65.1%	15,398	51.2%
2 月	52	57	31	140	19,722	65.5%	15,226	50.6%
3 月	58	49	15	122	19,844	65.9%	14,008	46.6%
合計	6,284	6,533	7,027	19,844				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

※3 平成 29 年 10 月の交付者数の減は、資格要件の年度更新により助成対象外となった生徒の減

平成 29 年度（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）に、1 か月以上カードの利用があった生徒人数 18,394 人（利用率 61.1%）

## 《平成 30 年度》

平成 30 年度 想定助成対象者数: 29,339 人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
4 月	4,320	5,987	6,271	16,578	16,578	56.5%	12,053	41.1%
5 月	301	90	98	489	17,067	58.2%	12,905	44.0%
6 月	301	111	122	534	17,601	60.0%	13,384	45.6%
7 月	286	85	98	469	18,070	61.6%	14,053	47.9%
8 月	159	73	70	302	18,372	62.6%	14,109	48.1%
9 月	110	37	52	199	18,571	63.3%	14,277	48.7%
10 月	△1	△313	△301	△615	17,956	61.2%	13,990	47.7%
11 月	109	90	134	333	18,289	62.3%	14,317	48.8%
12 月	57	57	70	184	18,473	63.0%	14,582	49.7%
1 月	79	55	53	187	18,660	63.6%	14,505	49.4%
2 月	57	54	24	135	18,795	64.1%	14,283	48.7%
3 月	49	38	4	91	18,886	64.4%	13,177	45.0%
合計	5,827	6,364	6,695	18,886				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

※3 平成 30 年 10 月の交付者数の減は、資格要件の年度更新により助成対象外となった生徒の減

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）に、1 か月以上カードの利用があった生徒人数 17,557 人（利用率 59.8%）

《令和元年度》

令和元年度 想定助成対象者数：29,179 人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
4月	4,439	5,543	6,026	16,008	16,008	54.9%	11,570	39.7%
5月	435	109	136	680	16,688	57.2%	12,436	42.6%
6月	313	100	129	542	17,230	59.1%	13,043	44.7%
7月	264	71	92	427	17,657	60.5%	13,736	47.1%
8月	133	56	72	261	17,918	61.4%	13,872	47.5%
9月	103	36	54	193	18,111	62.1%	13,995	48.0%
10月	△153	△390	△408	△951	17,160	58.8%	13,390	45.9%
11月	173	142	156	471	17,631	60.4%	13,779	47.2%
12月	61	62	74	197	17,828	61.1%	14,036	48.1%
1月	58	54	50	162	17,990	61.7%	13,964	47.9%
2月	51	35	24	110	18,100	62.0%	13,671	46.9%
3月	70	57	11	138	18,238	62.5%	11,880	40.7%
合計	5,947	5,875	6,416	18,238				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

※3 令和元年10月の交付者数の減は、資格要件の年度更新により助成対象外となった生徒の減

令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）に、1か月以上カードの利用があった生徒  
人数 16,968 人（利用率 58.2%）

《令和2年度》

令和2年度 想定助成対象者数：29,540人

利用開始月	交付者数				交付者数累計	交付率(※1)	利用者数	利用率(※2)
	1年	2年	3年	合計				
4月	4,533	5,648	5,593	15,774	15,774	53.4%	9,178	31.1%
5月	598	125	106	829	16,603	56.2%	9,931	33.6%
6月	215	81	59	355	16,958	57.4%	11,529	39.0%
7月	172	37	60	269	17,227	58.3%	12,513	42.4%
8月	118	29	39	186	17,413	59.0%	12,780	43.3%
9月	173	80	116	369	17,782	60.2%	13,145	44.5%
10月	490	288	328	1,106	18,888	63.9%	14,105	47.8%
11月	173	143	149	465	19,353	65.5%	14,625	49.5%
12月	73	73	57	203	19,556	66.2%	14,573	49.3%
1月	87	76	44	207	19,763	66.9%	14,459	49.0%
2月	41	41	20	102	19,865	67.3%	14,644	49.6%
3月	59	54	9	122	19,987	67.7%	13,606	46.1%
合計	6,732	6,675	6,580	19,987				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）に、1か月以上カードの利用があった生徒人数 17,273人（利用率 58.5%）

## 《令和3年度》

令和3年度 想定助成対象者数：30,149人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
4月	4,993	6,388	6,322	17,703	17,703	58.7%	12,484	41.4%
5月	805	116	147	1,068	18,771	62.3%	13,412	44.5%
6月	242	122	121	485	19,256	63.9%	14,057	46.6%
7月	219	74	76	369	19,625	65.1%	14,754	48.9%
8月	98	53	52	203	19,828	65.8%	14,752	48.9%
9月	65	34	49	148	19,976	66.3%	14,888	49.4%
10月	73	△108	△181	△216	19,760	65.5%	14,925	49.5%
11月	149	130	176	455	20,215	67.1%	15,339	50.9%
12月	60	51	36	147	20,362	67.5%	15,527	51.5%
1月	45	46	32	123	20,485	68.0%	15,420	51.2%
2月	41	44	16	101	20,586	68.3%	15,035	49.9%
3月	59	43	7	109	20,695	68.6%	13,891	46.1%
合計	6,849	6,993	6,853	20,695				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

※3 令和3年10月の交付者数の減は、資格要件の年度更新により助成対象外となった生徒の減

令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）に、1か月以上カードの利用があった生徒  
人数 18,296人（利用率 60.7%）

## 《令和4年度》

令和4年度 想定助成対象者数：30,153人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
4月	4,747	6,458	6,623	17,828	17,828	59.1%	12,444	41.4%
5月	729	129	140	998	18,826	62.4%	13,500	44.8%
6月	267	110	81	458	19,284	64.0%	14,044	46.6%
7月	206	44	69	319	19,603	65.0%	14,570	48.3%
8月	113	42	47	202	19,805	65.7%	14,651	48.6%
9月	64	25	46	135	19,940	66.1%	14,790	49.0%
10月	△ 91	△ 202	△ 293	△ 586	19,354	64.2%	14,210	47.1%
11月	97	45	82	224	19,578	64.9%	14,500	48.1%
12月	56	34	51	141	19,719	65.4%	14,695	48.7%
1月	40	45	25	110	19,829	65.8%	14,596	48.4%
2月	38	33	15	86	19,915	66.1%	14,271	47.3%
3月	60	35	5	100	20,015	66.4%	13,108	43.5%
合計	6,326	6,798	6,891	20,015				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

※3 令和4年10月の交付者数の減は、資格要件の年度更新により助成対象外となった生徒の減

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）に、1か月以上カードの利用があった生徒  
人数 17,819人（利用率 59.1%）

## 《令和5年度》 小学5・6年生

令和5年度 想定助成対象者数：19,952人

利用 開始月	交付者数			交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	5年	6年	合計				
4月	4,198	4,256	8,454	8,454	42.4%	4,305	21.6%
5月	839	760	1,599	10,053	50.4%	5,645	28.3%
6月	242	236	478	10,531	52.8%	6,416	32.2%
7月	172	194	366	10,897	54.6%	6,991	35.0%
8月	136	83	219	11,116	55.7%	7,174	36.0%
9月	55	49	104	11,220	56.2%	7,311	36.6%
10月	164	91	255	11,475	57.5%	7,304	36.6%
11月	123	97	220	11,695	58.6%	7,471	37.4%
12月	54	52	106	11,801	59.1%	7,720	38.7%
1月	37	38	75	11,876	59.5%	7,769	38.9%
2月	33	31	64	11,940	59.8%	7,741	38.8%
3月	34	31	65	12,005	60.2%	7,820	39.2%
合計	6,087	5,918	12,005				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

## 《令和5年度》 中学生

令和5年度 想定助成対象者数：30,014人

利用 開始月	交付者数				交付者 数累計	交付率 (※1)	利用者 数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
4月	4,419	5,649	6,166	16,234	16,234	54.1%	11,564	38.5%
5月	962	226	224	1,412	17,646	58.8%	12,571	41.9%
6月	258	107	132	497	18,143	60.5%	13,067	43.5%
7月	200	77	94	371	18,514	61.7%	13,704	45.7%
8月	130	52	64	246	18,760	62.5%	13,829	46.1%
9月	65	36	37	138	18,898	63.0%	13,886	46.3%
10月	54	△ 99	△ 136	△ 181	18,717	62.4%	13,562	45.2%
11月	83	80	99	262	18,979	63.2%	13,862	46.2%
12月	49	38	40	127	19,106	63.7%	14,091	47.0%
1月	40	45	34	119	19,225	64.1%	14,077	46.9%
2月	50	34	10	94	19,319	64.4%	13,783	45.9%
3月	28	21	5	54	19,373	64.6%	12,658	42.2%
合計	6,338	6,266	6,769	19,373				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

※3 令和5年10月の交付者数の減は、資格要件の年度更新により助成対象外となった生徒の減

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）に、1か月以上カードの利用があった人数

小学5・6年生 9,474人（利用率47.5%）、中学生 17,132人（利用率57.1%）

## 《令和6年度上半期》

### 小学5・6年生

令和6年4月～9月 想定助成対象者数：19,925人

利用開始月	交付者数			交付者数累計	交付率 (※1)	利用者数	利用率 (※2)
	5年	6年	合計				
4月	4,314	5,598	9,912	9,912	49.8%	6,490	32.6%
5月	807	177	984	10,896	54.7%	7,436	37.3%
6月	212	92	304	11,200	56.2%	7,872	39.5%
7月	147	76	223	11,423	57.3%	8,224	41.3%
8月	100	51	151	11,574	58.1%	8,299	41.7%
9月	49	28	77	11,651	58.5%	8,344	41.9%
上期計	5,629	6,022	11,651				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

## 《令和6年度上半期》

### 中学生

令和6年4月～9月 想定助成対象者数：30,056人

利用開始月	交付者数				交付者数累計	交付率 (※1)	利用者数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
4月	5,454	5,795	5,790	17,039	17,039	56.7%	12,427	41.4%
5月	222	178	165	565	17,604	58.6%	12,966	43.1%
6月	105	119	87	311	17,915	59.6%	13,349	44.4%
7月	145	74	88	307	18,222	60.6%	13,817	46.0%
8月	84	59	73	216	18,438	61.4%	13,880	46.2%
9月	52	26	43	121	18,559	61.8%	13,814	46.0%
上期計	6,062	6,251	6,246	18,559				

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

令和6年度上半期（令和6年4月～令和6年9月）に、1か月以上カードの利用があつた人数

小学5・6年生 8,810人（利用率44.2%）、中学生 14,757人（利用率49.1%）

## 《令和6年度下半期（所得制限撤廃後）》

### 小学5・6年生

令和6年10月以降 想定助成対象者数：39,849人

利用開始月	交付者数			交付者数累計	交付率 (※1)	利用者数	利用率 (※2)
	5年	6年	合計				
10月	15,410	15,255	30,665	30,665	77.0%	21,470	53.9%
11月	300	284	584	31,249	78.4%	22,502	56.5%
12月	334	351	685	31,934	80.1%		
1月	251	234	485	32,419	81.4%	集計中	集計中

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

## 《令和6年度下半期（所得制限撤廃後）》

### 中学生

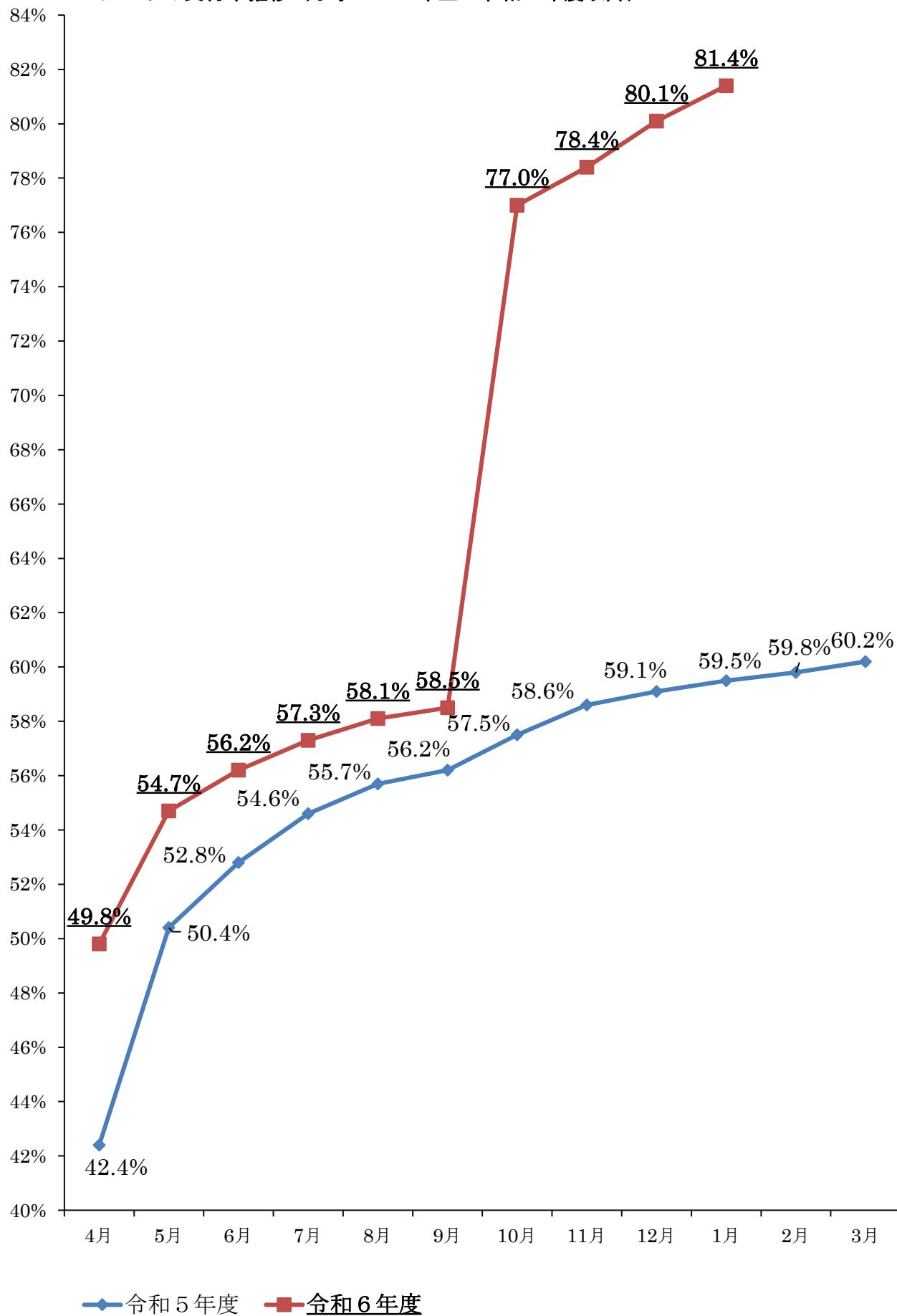
令和6年10月以降 想定助成対象者数：60,113人

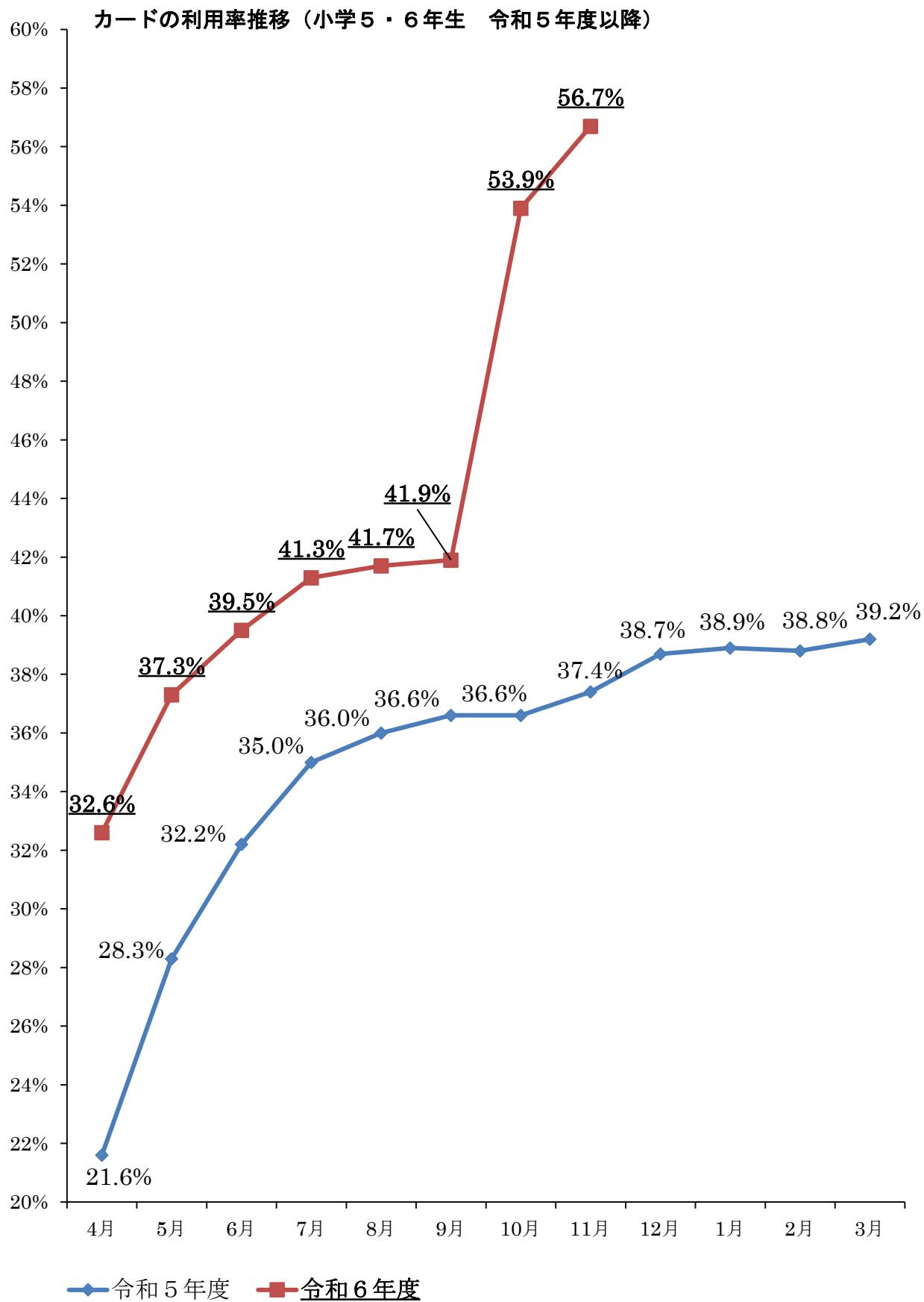
利用開始月	交付者数				交付者数累計	交付率 (※1)	利用者数	利用率 (※2)
	1年	2年	3年	合計				
10月	15,100	14,981	14,857	44,938	44,938	74.8%	33,643	56.0%
11月	275	244	241	760	45,698	76.0%	34,703	57.7%
12月	349	336	350	1,035	46,733	77.7%		
1月	215	246	192	653	47,386	78.8%	集計中	集計中

※1 交付率は想定助成対象者に対する交付者数の割合

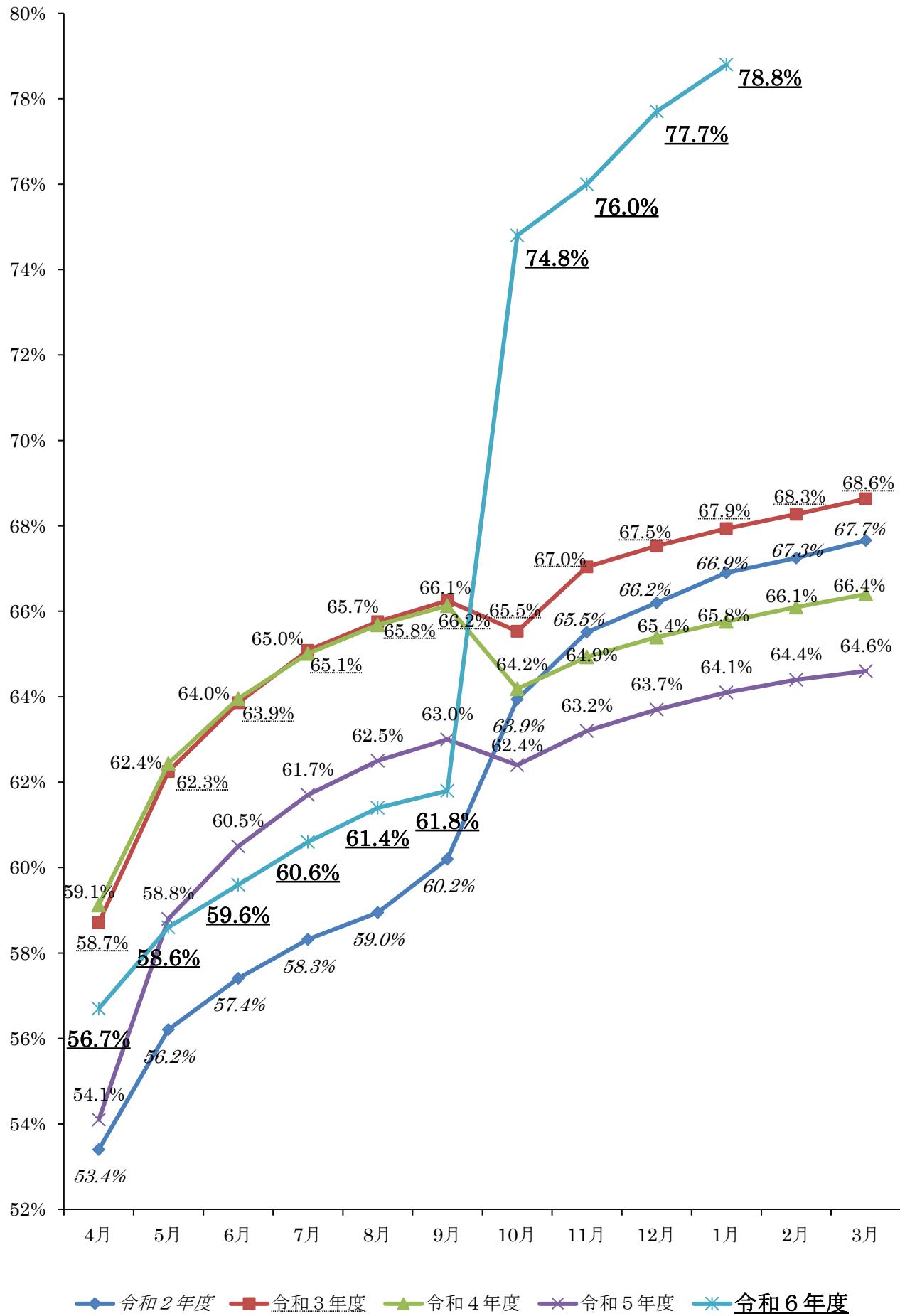
※2 利用率は想定助成対象者に対する利用者数の割合

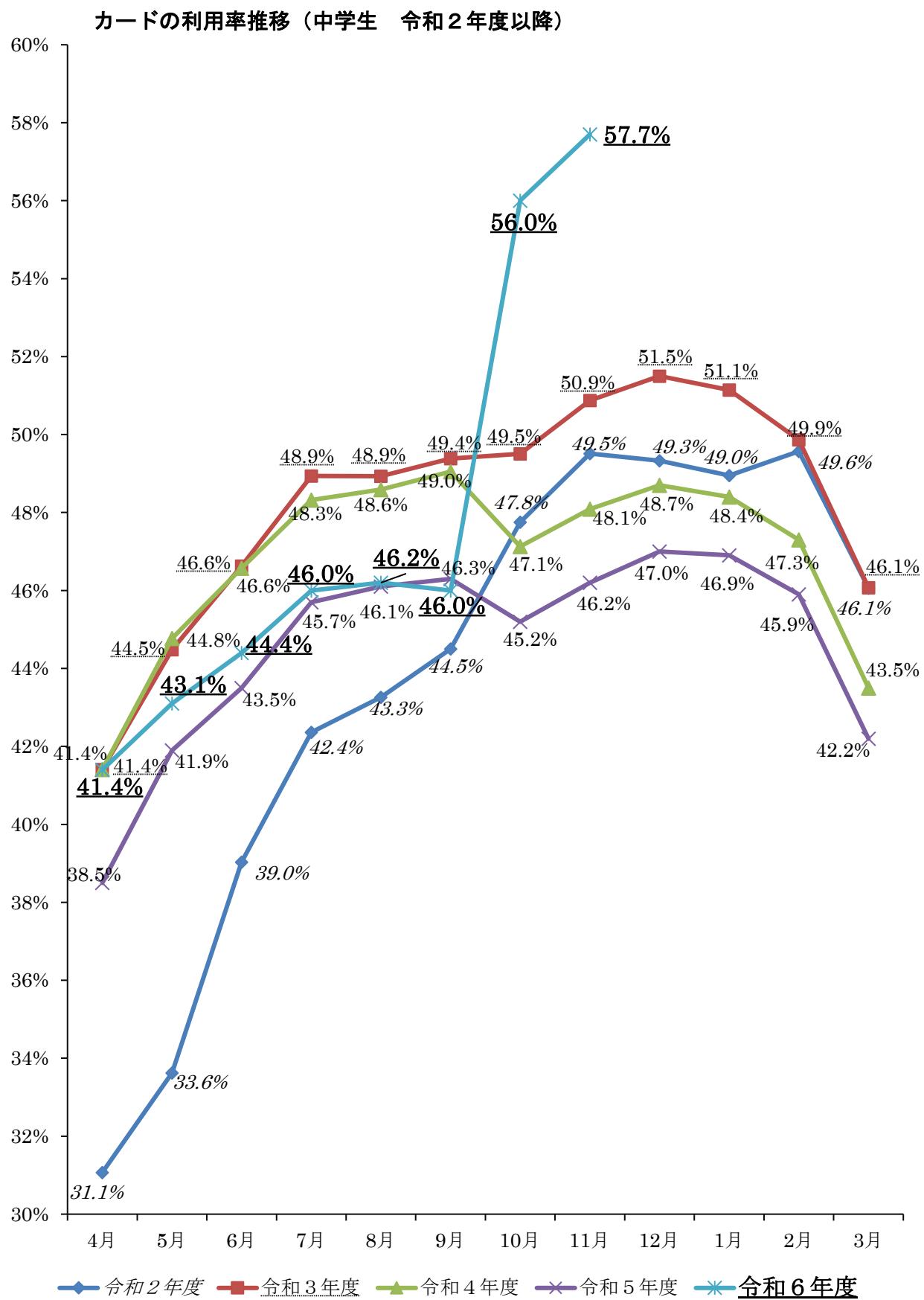
カードの交付率推移（小学5・6年生 令和5年度以降）





### カードの交付率推移（中学生 令和2年度以降）





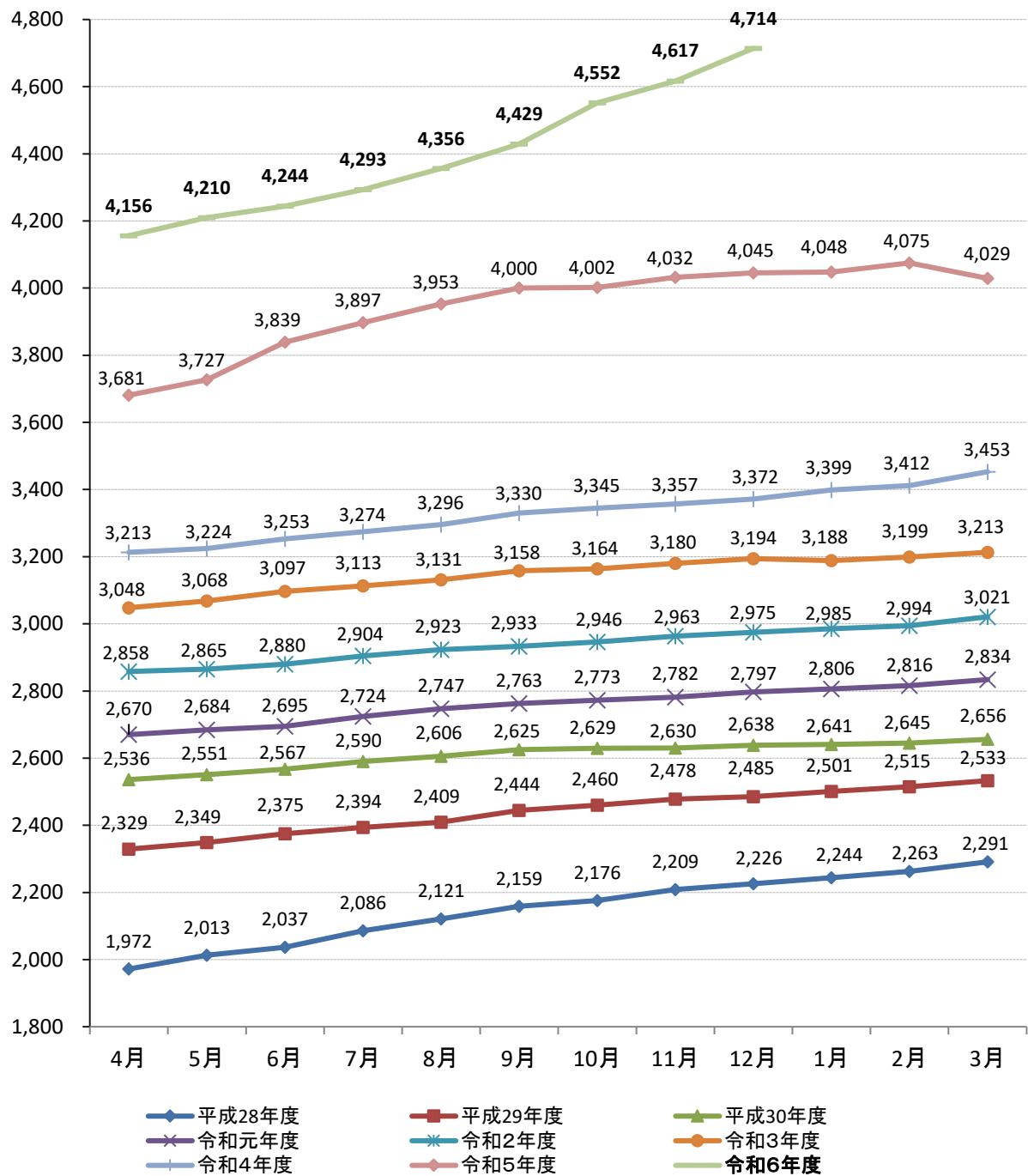
## （2）学習塾等の参画事業者の登録状況

カードを利用する学習塾等の参画事業者の登録数は、平成 25 年 12 月の全区展開当初は 704 教室であり、平成 26 年 7 月（1,202 教室）までは順調に増加していたが、その後登録数の伸びは鈍化傾向となった（平成 27 年 3 月 1,278 教室）。生徒や保護者にとって利用しやすい制度であるためには、選択肢として参画事業者の拡充が必要であることから、後述する登録勧奨に係るさまざまな取組みを実施し、その結果、平成 27 年 4 月（1,315 教室）から登録数は再度増加傾向に転じ、令和 6 年 12 月現在で 4,714 教室となっている。

### 【登録勧奨にかかる取組み】

- 平成 27 年 4 月利用分から、参画事業者に求めていた助成金額の 10% 負担を廃止した。  
(例：利用者が 1 万円の助成を受けた場合、9,000 円を大阪市が参画事業者へ支払い、残りの 1,000 円を参画事業者が負担)
- 平成 27 年 4 月から、家庭教師や出稽古等の訪問によるサービス提供事業者であっても登録できるよう、登録要件を緩和した。
- 平成 27 年 4 月から、過去 1 年間の経営実績を求めていた個人事業者の登録要件をこれから開始する個人事業者であっても登録できるよう、登録要件を緩和した。
- 平成 28 年 4 月から、本市隣接 11 市に教室または事業所を有する事業者であっても登録できるよう、登録要件を緩和した。
- 平成 28 年 10 月から、オンライン学習塾やオンライン家庭教師など、インターネット接続を用いて指導を行う事業者であっても登録できるよう、登録要件を緩和した。
- 平成 29 年 4 月から、フリースクール事業者であっても登録できるよう、登録要件を緩和した。
- 令和 5 年 4 月から、助成対象学年を小学 5・6 年生にも拡大するにあたり、小学生を対象とする事業者について登録勧奨を実施した。
- 令和 6 年 10 月から、所得制限を撤廃するにあたり、郵送等を用いて添削指導を行う事業者であっても登録できるよう、登録要件を緩和した。
- 事業開始当初から、生徒や保護者が利用したい学習塾等が未登録である場合、運営事務局に登録をリクエストできる仕組みとしており、リクエストがあった事業者に対して架電による登録勧奨を実施している。（リクエストがあった事業者は区域外でも登録可能）  
(令和 6 年 12 月現在で登録に至った事業者：1,483 事業者（登録事業者の 31.5%）)

## 参画事業者数（平成28年度以降）



種類別登録事業者数（令和6年12月時点）			
学習塾	2,479 (56) [78]	文化教室	804 (6) [20]
スポーツ教室	834 (4) [2]	学習塾・文化教室併設	520 (6) [29]
学習塾・スポーツ教室併設	22 (2)	文化・スポーツ教室併設	29
学習塾・文化・スポーツ教室併設	26 (2)		

※（）内は訪問型、【】内は通信教育型事業者数で、ともに内数

※文化教室（パソコン、音楽、外国語、美術工芸、書道、そろばん等）

※スポーツ教室（ダンス、武道、水泳、テニス、野球、サッカー等）

## 2 児童・生徒及び保護者へのアンケート調査の結果

事業の効果を検証するための継続的な取り組みとして、カードの交付を受けた児童・生徒と保護者より対象者を無作為に抽出し、郵送によるアンケート調査を実施した。  
アンケート調査の概要と結果は次のとおりである。

### (1) 調査の概要

実施時期	令和6年3月		対象者	令和5年度 児童・生徒と保護者	
配付数	小学生*〔小〕	1,920人	回答数 (率)	小学生*〔小〕	872人 (45.4%)
	中学生〔中〕	4,050人		中学生〔中〕	1,547人 (38.2%)

※ 小学5・6年生

### (2) 調査の効果

#### ア 個性や才能を伸ばす機会の提供

「塾代助成によって、どのような変化があったか」を保護者に質問したところ

- カード交付前は学習塾等に通っていなかった児童・生徒では、「新たに通塾できた、冬期講習等に参加した」という回答が小80.7% (113人/140人)、中75.9% (284人/374人)
- カード交付前から学習塾等に通っていた生徒では、「受講科目を増やせた」「冬期講習等に参加した」「以前から利用している学習塾等に加え新しい教室等にも利用できた」という回答が小54.4% (429人/788人)、中52.3% (672人/1,284人) であり、学校外教育の機会が増えたと回答した保護者の割合は合わせて小58.4% (542人/928人) 中57.7% (956人/1,658人) であった。

塾代助成によってどのような変化がありましたか	交付前は学習塾等に通っていなかった		交付前から学習塾等に通っていた		合計	
	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生
新たに通塾できた、冬期講習等に参加した、受講科目を増やせた等	113人 (12.2%)	284人 (17.1%)	429人 (46.2%)	672人 (40.5%)	542人 (58.4%)	956人 (57.7%)
以前から通っている教室にカードを利用してそのまま通う			253人 (27.3%)	375人 (22.6%)	253人 (27.3%)	375人 (22.6%)
通っていた教室をやめてカードを利用できる教室に通う			57人 (6.1%)	179人 (10.8%)	57人 (6.1%)	179人 (10.8%)
その他	27人 (2.9%)	90人 (5.4%)	49人 (5.3%)	58人 (3.5%)	76人 (8.2%)	148人 (8.9%)
合計	140人 (15.1%)	374人 (22.6%)	788人 (84.9%)	1,284人 (77.4%)	928人 (100%)	1,658人 (100%)

## イ 学力・学習意欲の向上

### ◎ 学力等の変化

#### 【児童・生徒】

- ・カードを利用してからの成績（能力）の変化について児童・生徒に質問したところ、  
小71.3%（554人）、中72.7%（1,009人）が「良くなつた」と回答した。

#### 《参考》

成績（能力）はどのように変わりましたか	令和5年度			
	小学生		中学生	
	回答者数	割合	回答者数	割合
良くなつた	554	71.3%	1,009	72.7%
あまり変わらない	208	26.8%	355	25.6%
悪くなつた	4	0.5%	11	0.8%
その他・無回答	11	1.4%	12	0.9%
合計	777	100.0%	1,387	100.0%

令和4年度	
中学生	
回答者数	割合
987	71.4%
354	25.6%
19	1.4%
23	1.6%
1,383	100.0%

#### 【保護者】

- ・また、保護者に対し、カードの利用による子どもの成績（能力）の変化について質問したところ、成績（能力）が「良くなつた」という回答が小69.1%（551人）、中70.6%（1,015人）で、児童・生徒の成績（能力）が「良くなつた」という回答とほぼ同じ割合である。

#### 《参考》

お子さんの成績（能力）にどのような変化がありましたか	令和5年度			
	小学生		中学生	
	回答者数	割合	回答者数	割合
良くなつた	551	69.1%	1,015	70.6%
あまり変わらない	210	26.3%	366	25.5%
悪くなつた	1	0.1%	11	0.8%
その他・無回答	35	4.4%	46	3.2%
合計	797	100.0%	1,438	100.0%

令和4年度	
中学生	
回答者数	割合
1,006	70.6%
363	25.5%
11	0.8%
44	3.1%
1,424	100.0%

### ◎ 成績（能力）が向上したと実感した理由

#### 【児童・生徒】

- ・成績（能力）や学力の向上について、本人の主観的な感想ではなく、より客観性を持たせるため、成績（能力）が「良くなつた」と答えた児童・生徒に対し、その理由を質問した。
- ・その結果、児童・生徒の小63.7%（353人）、中73.7%（744人）が「学校の定期テスト等の点数」をあげており、学校のテストの結果によって成績（能力）が向上したことを探している。
- ・そのほかに小では「学校の通信簿の内容」「文化教室等での技術の向上」、中では「学校の通信簿の内容」「学校の定期テスト等の順位」での回答割合が高い。

(複数回答可)

成績（能力）の変化をどのようなどころで実感しましたか	令和5年度			
	小学生		中学生	
	回答者数	割合	回答者数	割合
学校の定期テスト等の点数	353	63.7%	744	73.7%
学校の定期テスト等の順位	66	11.9%	220	21.8%
学校の通信簿の内容	151	27.3%	363	36.0%
学習塾等での成績	69	12.5%	120	11.9%
模試等の成績	61	11.0%	165	16.4%
文化教室等での技術の向上	115	20.8%	82	8.1%
回答者数	554		1,009	

《参考》

令和4年度	
中学生	
回答者数	割合
718	72.7%
221	22.4%
385	39.0%
106	10.7%
153	15.5%
74	7.5%
987	

### 【保護者】

- ・また、成績（能力）が「良くなった」と答えた保護者についても、その理由を質問したところ、小54.3%（299人）、中70.7%（718人）が「学校の定期テスト等の点数」をあげており、学校のテストの結果によって成績（能力）が向上したことを実感している。

(複数回答可)

成績（能力）の変化をどのようなどころで実感しましたか	令和5年度			
	小学生		中学生	
	回答者数	割合	回答者数	割合
学校の定期テスト等の点数	299	54.3%	718	70.7%
学校の定期テスト等の順位	61	11.1%	237	23.3%
学校の通信簿の内容	136	24.7%	401	39.5%
学習塾等での成績	89	16.2%	104	10.2%
模試等の成績	72	13.1%	138	13.6%
文化教室等での技術の向上	119	21.6%	84	8.3%
回答者数	551		1,015	

《参考》

令和4年度	
中学生	
回答者数	割合
711	70.7%
243	24.2%
407	40.5%
119	11.8%
130	12.9%
82	8.2%
1,006	

## ◎ 学習意欲の変化

### 【児童・生徒】

- カードを利用してからの学習意欲（学ぶ意欲）の変化について児童・生徒に質問したところ小63.3%（492人）、中66.0%（916人）の児童・生徒が、学習意欲（学ぶ意欲）が向上したと実感している。

### 《参考》

学習意欲（学ぶ意欲）にどのような変化がありましたか	令和5年度				令和4年度	
	小学生		中学生			
	回答者数	割合	回答者数	割合		
向上した	492	63.3%	916	66.0%	871	
あまり変わらなかった	268	34.5%	435	31.4%	474	
低下した	5	0.6%	12	0.9%	18	
その他・無回答	12	1.5%	24	1.7%	20	
合計	777	100.0%	1,387	100.0%	1,383	

### 【保護者】

- また、保護者に対し、カードの利用による子どもの学習意欲（学ぶ意欲）の変化について質問したところ、学習意欲（学ぶ意欲）が「向上した」という回答が小63.5%（506人）、中65.4%（941人）となっている。

### 《参考》

お子さんの学習意欲（学ぶ意欲）にどのような変化がありましたか	令和5年度				令和4年度	
	小学生		中学生			
	回答者数	割合	回答者数	割合		
向上した	506	63.5%	941	65.4%	929	
あまり変わらなかった	266	33.4%	447	31.1%	444	
低下した	2	0.3%	9	0.6%	11	
その他・無回答	23	2.9%	41	2.9%	40	
合計	797	100.0%	1,438	100.0%	1,424	

## ◎ 学力・学習意欲（学ぶ意欲）以外の変化

- カードを使って、学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室などを利用したことによってどのように変わったかを児童・生徒に質問したところ、小では、35.1%（273人）が「得意な学習や習い事で自信がついた」、中では、43.3%（600人）、が「不得意な学習がわかりやすくなった」という回答をしている。

(複数回答可)

《参考》

カードを利用したことでの ように変わりましたか	令和 5 年度				令和 4 年度 中学生 回答者数 割合	
	小学生		中学生			
	回答者数	割合	回答者数	割合		
不得意な学習が わかりやすくなった	231	29.7%	600	43.3%	611 44.2%	
学習する機会が増えた	253	32.6%	582	42.0%	595 43.0%	
学校の授業がわかりやすくなった	227	29.2%	410	29.6%	414 30.0%	
得意な学習や習い事で 自信がついた	273	35.1%	365	26.3%	361 26.1%	
友達や仲間が増えた	185	23.8%	286	20.6%	257 18.6%	
もっと学びたいという 気持ちになった	174	22.4%	248	17.9%	253 18.3%	
学習（練習）に一生懸命 取り組むようになった	117	15.1%	220	15.9%	226 16.3%	
生活にメリハリがつき 意欲的になった	63	8.1%	134	9.7%	140 10.1%	
将来の目標や夢に役立つ学習や 習い事を増やすことができた	91	11.7%	121	8.7%	118 8.5%	
特に変わらない	121	15.6%	167	12.0%	182 13.2%	
回答者数	777		1,387		1,383	

#### ウ 経済的な負担の軽減

- 保護者に対し、塾代助成事業による経済的な影響を尋ねた質問では、**小**59.3% (473 人)、  
**中**61.2% (880 人) が「子どもの教育に役立つものへの支出を増やすことができた」、  
**小**21.0% (167 人)、**中**18.4% (264 人) が「生活費への支出を増やすことができた」、  
**小**9.7% (77 人)、**中**8.7% (125 人)、が「他のものへの支出を増やすことができた」と回答している。

(複数回答可)

《参考》

経済的にどのような影響があ りましたか	令和 5 年度				令和 4 年度 中学生 回答者数 割合	
	小学生		中学生			
	回答者数	割合	回答者数	割合		
子どもの教育に役立つものへ の支出を増やすことができた	473	59.3%	880	61.2%	896 62.9%	
生活費への支出を 増やすことができた	167	21.0%	264	18.4%	274 19.2%	
他のものへの支出を 増やすことができた	77	9.7%	125	8.7%	128 9.0%	
新たに教室等を利用するようになっ たため生活費等への支出を減らした	22	2.8%	42	2.9%	52 3.7%	
特に変わらない	98	12.3%	178	12.4%	145 10.2%	
回答者数	797		1,438		1,424	

## エ 務代助成を受けなかった理由

- ・カードを所持しているにもかかわらず、「利用していない」と回答した保護者に対して、その理由を尋ねたところ、小では「現在利用している学習塾等が参画事業者ではない」が最も多く、中では「子どもが学習塾等を利用したいと言っていない」が最も多くなっている。

(複数回答可)

《参考》

利用していないのはなぜですか	令和5年度				令和4年度	
	小学生		中学生			
	回答者数	割合	回答者数	割合		
現在利用している学習塾等が参画事業者ではない	39	56.5%	27	25.7%	30	
子どもが学習塾等を利用したいと言っていない	17	24.6%	43	41.0%	35	
参画事業者の中に利用したい教室がない	17	24.6%	17	16.2%	7	
助成金額不足	4	5.8%	18	17.1%	15	
どこを利用すればよいかわからない	6	8.7%	9	8.6%	6	
現在は学習塾等を利用させたいと思っていない	0	0%	5	4.8%	6	
利用方法がわからない	3	4.3%	1	1.0%	1	
回答者数	69		105		89	

## オ その他

### 【児童・生徒】

- ・「カードを使って良かったこと・悪かったこと」について自由記述で意見を聞いたところ、良かったこととして「塾や習い事などに行けた」(小74人、中54人)、「経済的な親への負担が減った」(小44人、中30人)との意見が多くあった。
- ・一方、悪かったことでは、「毎月のカードの提示が面倒」という意見があった。

### 【保護者】

- ・保護者に対して、子どもの生活全般への影響を尋ねた質問では、小30.0% (239人)、中29.3% (422人) が「家庭での学習時間が増えた」と最も多く回答し、次いで小では21.1% (168人) が「交友関係が広がった」、中では、21.3% (307人) が「生活習慣が改善された」と回答した。一方で、小27.2% (217人)、中25.7% (370人) が「特に変化はない」と回答した。

(複数回答可)

お子さんにどのような影響がありましたか	令和5年度				《参考》	
	小学生		中学生			
	回答者数	割合	回答者数	割合		
家庭での学習時間が増えた	239	30.0%	422	29.3%	436	
生活習慣が改善された	132	16.6%	307	21.3%	352	
交友関係が広がった	168	21.1%	268	18.6%	257	
何事にも積極的に取り組むようになった	139	17.4%	182	12.7%	213	
将来に向け打ち込むものを見つけた	116	14.6%	211	14.7%	212	
特に変化はない	217	27.2%	370	25.7%	357	
回答者数	797		1,438		1,424	

- ・また、塾代助成事業に希望することを尋ねると、「今後も事業が継続される」という回答が小93.7% (747人)、中87.3% (1,256人) で最も多く、次いで「高校生も利用できるようになる」が小67.4% (537人)、中75.4% (1,084人)、さらに小では、「利用できる教室等が増える」が44.4% (354人)、中では、「助成金額が増える」が39.8% (573人)と続く。

(複数回答可)

塾代助成事業にどのようなことを希望されますか	令和5年度				《参考》	
	小学生		中学生			
	回答者数	割合	回答者数	割合		
今後も事業が継続実施される	747	93.7%	1,256	87.3%	1,260	
助成金額が増える	351	44.0%	573	39.8%	514	
交付申請手続きが簡単になる	154	19.3%	241	16.8%	237	
利用できる教室等が増える	354	44.4%	463	32.2%	462	
小学生も利用できるようになる	270	33.9%	306	21.3%	313	
高校生も利用できるようになる	537	67.4%	1,084	75.4%	1,060	
カード利用時のプライバシー保護が強化される	61	7.7%	88	6.1%	82	
改善すべき点は特にない	4	0.5%	12	0.8%	6	
回答数	797		1,438		1,424	